

EX STAGE “あなたの歌を生み出す少女

話者	台詞 / ト書き
	■宮下公園
テルミ	うーん、違うかな。 ここだけでもわかれば、 なんとかなりそーなんだけど……。
エチカ	テルミーテルミー、 焦ったらダメだよー？
テルミ	わかってるよエチカ、 別に焦ってないから。 ……ん？
セナ	……こんにちは、 テルミおねーさん。
アナテマ	ごきげんいかがでしょう、 テルミIP。
テルミ	やっほ、【ユーザー名】。 その子とアナテマを助手にしたって 本当だったんだ。
テルミ	柔軟なヒトとは思ってたけど、 その二人と一緒にいるって ヤワラカすぎるね。
アナテマ	セナは貴方をナンパしましたからねえ。 嫌悪を捨てられないのも 仕方ないことです。
セナ	いつものことだけど お前が言わないでくれます？ 僕はキレーな年上が好きなの。
テルミ	……あ、アハハ。にぎやかだね。 嫌悪とかはも一別にないから 気にしないで。
エチカ	テルミはいまや、トップクラスの カリスマIPですからー？ 男子の視線は四六時中ですからー？
テルミ	こら、ハードル上げるなエチカ。 気にしてたらキリないってただだよ、 【ユーザー名】？
セナ	余裕ですねー。 さすがあのミアラカってのとは 違って大人ってこと？
テルミ	ミアか。なんか力んでみたいだけ そんな弱い子じゃないし、 ぶつかったらわかってくれたでしょ？
テルミ	みんな必死ではあるけど、 それなりに場数踏んでるから。 そうそう自分には負けないよ。
アナテマ	……………。 自分に負けない、ですか。 耳が痛い言葉ですねえ。
テルミ	というわけでき。 あたしが今回キミらを呼んだ理由も だいたい察しついでるよね？
セナ	どーせ『小特異点』がらみでしょ。 おねーさんが放っておくとも 思えないし。
テルミ	ふふ、当たり。 じゃ、ちょっと移動しよっか。

テルミ	エチカ、 お留守番モードで悪いけど、 ここのパターン少し試しといてね。
エチカ	はいはい。 いってらっしゃい、テルミー。
テルミ	■渋谷 テラスデッキ ここ来るのも何回目かな。 昔の自分思い出して なんかヤなんだけどね。
テルミ	……ね、【ユーザー名】。 クレア姫が今、なにを研究してるか 聞いてるでしょ？
セナ	ACTのコトバ—— 『ACTの中間言語研究』、 だっけ？
テルミ	そ。実はあたしもさ、 ちょっと協力してるんだ。 ACTの歌はあたしも好きだから。
テルミ	わからない言葉を勉強することで 不思議と人間が—— ——自分がわかってくるしね。
アナテマ	自分がわかる……ですか。
テルミ	うん。自分と向き合える。 こうやって—— 『シフトアップ・レイヤー』！
テルミACT	……やっほ、あたし。 元気そーじゃん。
テルミ	元気だよ、あたし。 再現度高いじゃん。
アナテマ	……貴方のイメージも、 ACT化されたようですね。 アクトマキアからの戦いを経て。
テルミ	そーゆうこと。 まあ照れるけど、 自分を知るにはいい手段だから。
テルミ	けど、ここで呼べばきつと……。
テルミACT	負けたくない……。 あたしの曲は、どんな曲より エンタメなんだから……。
テルミ	……やっほそーなるか。
テルミACT	負けたくない……。 あたしだって……。 あの子よりも、あたしが……！
セナ	お、おい、やっほそーだよ。 もしかして、ここって……？
テルミ	そ、『小特異点』みたいだよ。 ACTの知能——感性が、 揺さぶられる場所……。
テルミACT	あたしだって、キミがッ……！
テルミ	おっと、その先はダメ！ 【ユーザー名】ごめん、 悪いけど黙らせてあげて！

話者	台詞 / ト書き
	//テルミACTとバトル
テルミACT	黙ってるつもりだったのに…… キミがそんなこと言うなら、 あたしも……。
テルミACT	……話しても、大丈夫だよ？ また友達に戻れるよね、 ……イオン……。
	//バトル終了

話者	台詞 / ト書き
	■テラスデッキ
テルミACT	負けちゃったか…… でも【ユーザー名】、 キミにならなんでも見せられ——。
テルミ	はいストップ！ 終了しゅうりょー！ 暴走終了！ 聞こえないあああああああー！
テルミACT	……あたし……？
テルミ	そそ、あたしあたし。 落ち着いてね、今の言ったら あたしの努力台無しだから。
セナ	……おねーさん、必死すぎ。
アナテマ	余裕が消えましたね。 あれで本当に自分と 向き合えているのでしょうか。
テルミ	……ふー、危ない。 ったく、自分で実験するのは デメリットがデカすぎるなー。
セナ	実験……？ 自分のACTを倒すことが？
テルミ	そうだけど、違うよ。 あたしが見つけたかったのは、 『小特異点』の発生法則——。
テルミ	——【ユーザー名】。 『小特異点』の発生原因は、 やっぱキミだよ。
セナ	おにーさんが……？
テルミ	ちょっと調べればわかるよ。 キミとイオンが、オルタナステージで 好成績を残した場所——。
テルミ	そこに『小特異点』が発生してる。 ここもだよ。 あたしがキミにボロ負けした場所。
テルミ	まー、キミと初対面のときの みんなは、だいたいキミの勝利を 盛り上げちゃってただけださー。
アナテマ	……なぜその地点に、 レイヤードの揺らぎが？
テルミ	わかんない。 昔のアナテマが気づかなかったのに、 あたしらがわかるわけないよ。
テルミ	でもさ。 あたしはこれが、希望だって思ってる。 あの子が——。
テルミ	イオンがレイヤードに『ナニカ』を 残したことで、コレが起きてるなら。 ……調べがい、あるじゃん？
アナテマ	ACTを暴走させる不定情報が、 希望だと言うのですか。 いかなるロジックなのでしょう？

テルミ	暴走なんて不穏な状態じゃないと思う。 人間だって、きっかけあれば感情が 揺さ振られて、行動的になるでしょ？
セナ	すごい表現に触れたとき…… とか？
テルミ	そーだね。 強い表現は、心を震わせる。 人のでも、ACTのでも。
テルミ	ミアぐらい感性鋭かったら、 ACTにしかわからない表現でも 感動しちゃっておかしくないね。
アナテマ	……確かに、彼女は 『小特異点』に複雑な情動を 与えられていたようです。
テルミ	でしょ。あたしは調べたいの。 姫が『言葉』に注目したみたいに、 ACTがACTに与える影響を。
テルミ	例えば、ノアが起こした現象。 あの『歌』と、この小特異点には 共通点がありそーって思わない？
アナテマ	確かに、『歌』は原始より社会の 在りかたを変えてきた、 万能のツールと呼べましようが。
セナ	……いや、たかが歌じゃん。 そんなに都合のいいことはかり 起こせるの？
テルミ	あたしは信じてるよ。 歌が世界をハックできるから、 今のレイヤードがあるんだって。
テルミ	あたしはクレア姫と違って、 そんな歌はまだ作れてないけど—— 挑みたい。
テルミ	言葉を学んで、ACTを学んで。 その上ですごい曲を作ってみせる。 この希望を証明したいもん。
セナ	そこまで頑張っ、おにーさんの ヒロインとなにも関係なかったら どーすんのさ……？
テルミ	関係なくても、関係を作るよ。 簡単に諦めちゃダメってことは あの子に教わったから。
テルミ	根拠ゼロだけど、 あたしがそんな曲を作れたら—— ——また、会える気がするんだ。
セナ	……………。 すごいね、おねーさん。
アナテマ	……セナ、体温が上昇しています。 年上に見惚れるにしても、 症状がわかりやすすぎるかと。
セナ	み、見惚れてないし！ てか勝手に体温図るなよ、 このラスボス女！
アナテマ	ラスボスだからできるのです。 なんなら、私が性癖を 管理してあげてもいいですが？
セナ	結構だよっ。 セーテキ妄想ぐらい 好きにさせてよ……。
テルミ	……ふふっ。
テルミ	あはははっ！ なにそれ。一応警戒してたのに、 キミらって今そんな感じなんだ。
テルミ	アナテマ。さすがにキミは 好きになれないと思ってたけど…… ホントはこんな子だったんだね。
アナテマ	憎んでいただいて構いませんよ。 今の私と過去の私、記憶はともあれ 人格は変化していませんから。

テルミ	そんなことしないよ。 建設的じゃないし、多分、 そーいうのはあの子が一番嫌う。
アナテマ	……そうでしょうか。 さすがの彼女も、目の前に来れば 改めて私を罵倒すると思うのですが。
テルミ	どーかなー。 キミとしてはどうなると思う、 【ユーザー名】？
	//選択肢 A 懐かれそう B いっそケンカすればいい
選択肢A	懐かれそう
テルミ	アハ、あり得そう。 【ユーザー名】が 危くないなら、そうなるかもよ？
アナテマ	……………。 世話が面倒な子どもは 一人で充分ですよ。
選択肢B	いっそケンカすればいい
テルミ	そーだね。 まだ言いたいことがあるなら、 お互いぶつけまくればいいじゃん。
アナテマ	……………。 彼女との口ゲンカは、 永久に続いてしまいそうですね。
合流	
セナ	よくわかんないけど、 絡まれて怒ってるアナテマは、 ちょっと見てみたいかなー。
アナテマ	……お望みなら今から 叱ってさしあげても いいですよ、私のセナ。
セナ	いらないよ。 おにーさんと会ってから 怒られ飽きてんだから。
テルミ	……………。 ホント、すごいねキミは。 このメンツがこんな明るくなるなんて。
テルミ	やっぱキミならなんでも見せ—— じゃなくて、あたし自身の ACTだって任せられる。
テルミ	……だから、えっと。 えっとね……。
テルミACT	好きに使っていいよ、 あたしのこと。 ……でしょ、あたし？
テルミ	そ、そうそう。でも断りなく あたしのACTに変なことしたら ソッコーで殺すし！
セナ	……断ったらいいってことかな、 アナテマ？
アナテマ	野暮な勘繰りは ヘイトの元ですよ、全く。
テルミ	ふふ……とか言って、指握って。 手を繋ぎたがるACTなんて、 誰かを思い出しちゃうね。
テルミ	さ、あたしは帰って続きかな。 ちょっと冷えてきたし、 エチカもさみしいだろうし。
テルミ	てか、冬だね。 ……もう少しでクリスマスかあ。
テルミ	奇跡のひとつも期待しよっか、 【ユーザー名】……。